

## つながろう NIPPON 夏本番!最低賃金引き上げ審議もヤマ場!



▲生活できる最低賃金の引き上げを訴える岸本最低賃金審議会委員(連合京都副会長・自動車総連)

8月1日、最低賃金の審議の本格化を受けて、「生活できる最低賃金」を求めて街頭行動を実施した。

岸本 満、原 健二両京都地方最低賃金審議会委員らが、「生活保護水準を越えることが目標ではなく、全国最低800円、平均1000円をめざしたい。」と熱弁をふるった。

また同日、京都府内各地でも、各地協が街頭で周知チラシ・ティッシュを配り、府民に最低賃金の引き上げの必要性を訴えた。



▲原最低賃金審議会委員(Uiゼンセン同盟)



## 女性・青年委員会 連続講座第2回目 子育て支援に取り組む会社を訪問してみよう!



▲参加者全員で記念撮影

連合京都女性委員会・青年委員会共催による連続講座の第2回目として、「子育て支援に取り組む会社を訪問してみよう!」を開催。

フード連合京滋地区協議会の協力により、日本たばこ産業関西工場へ45名が訪問した。たばこの製造工程見学終了後、同工場における、子育て支援策の「妊娠中の支援制度」や「産前・産後の支援体制」などの実効性について紹介を受けた。質疑応答では、制度運用に関する質問や女性の執行役員比率をはじめ、活発な意見交換が行われた。さらに、TaKaRa酒造伏見工場では、徹底した衛生管理の取り組みについて見学した。



▲木崎全たばこ労組関西工場支部執行委員長より取り組みが紹介された

## つながろう NIPPON 助けよう!支援の輪

京都府は、東日本大震災で被害にあった福島の小・中学生を京都府内に招待し、京都の自然や文化に親しんでもらう応援プロジェクト「ふくしまっ子応援京・体験プロジェクト2012」を実施。連合京都は、復興支援の取り組みの一つとして、この応援プロジェクトに協賛・支援を行った。

写真の陶芸体験は、山田啓二京都府知事が第83回京都中央メーデーにご臨席の際、JAM京滋シンポ労働組合のアピールブースにおいての陶芸体験がきっかけとなって、京都府教育委員会の実施する同プロジェクトへのシンポ労働組合(日本電産シンポ株式会社)の支援協力が行われた。8月9日、無事日程を終了し、ふくしまっ子のみなさんは元気な笑顔で帰郷した。



▲陶芸体験をする福島の子供たち

▲丸川府教育委員会社会教育課長(左)へ支援金を贈呈する細田会長(右)

## Part3 検証! 政権交代から2年!

① 高校無償化の効果って…何か成果がでているの?



② 連合は、私たち連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を築くために、山積するさまざまな課題の対策を民主党に強く求めています!  
前月号に続き、連合京都学習会での松井孝治参議院議員の講演内容から、教育関係の検証を紹介します。

学校に入学したら「いじめ」の問題が心配だな〜。  
③ちゃんと生徒一人ひとりに先生の目が届いているといいけど…。



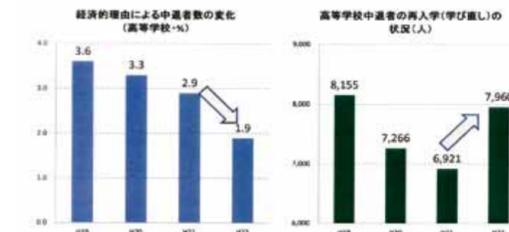
④ 連合は、将来日本を支える子どもたちのため、次世代育成の環境整備にも取り組んでいます。

### 教育(高校無償化)

マニフェスト: 公立高校を実質無償化にし、私立高校生の学費負担を軽減する。

高校無償化で経済的負担の軽減により、学ぶ人が増えています!

- 成果**
- マニフェスト工程表通りに、平成22年度から、法律に基づき、実質的な高校無償化をスタート
- 公立高校生に、授業料相当額を助成
  - 私立学校生にも公立高校と同等の助成を実施(低所得世帯に対する加算有り)
  - 大学生などに対する奨学金制度も拡充



- 効果**
- 経済的理由による高等学校中途退学者数が大きく減少  
2099人(H20)→1569人(H21)  
→1007人(H22)(被災3県除く)
  - 高校中途退学者の再入学(学び直し)が増加  
6904人(H20)→6755人(H21)  
→7617人(H22)(被災3県除く)

松井孝治参議院議員講演資料を引用(5/26)

### その他の成果

**35人学級** 全ての人に質の高い教育を提供する

- 少人数学級を推進
- H23年度から必要な教職員定数改善を実施
- H24年度では、さらに小学校2年生まで拡大

**学校耐震化** 学校教育環境を整備する

- 東日本大震災を踏まえて、さらに耐震化を加速し、耐震化率を73%(H22.4)から90%まで引き上げ(H24年度予算執行後)

**スクールカウンセラー** 全小中学校に配置

- H23年度予算で、公立の全中学校及び小学校1万2000校に配置の予算を確保
- さらに東日本大震災で被災した子どもたちの心のケアの充実を図るために補正予算で増員を確保

## 平和行動 in 広島 平和への願いこめて

8月4~6日の連合平和行動in広島に、連合京都から6名が参加した。沖縄行動から続く取り組みに、参加者は、各構成組織から託された折鶴を献納し、歴史の事実を風化させず語り繋ぐため、継続した平和行動への参加の重要性を再認識した。

